

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 月 日作成)

<b>小委員会名</b>	地震火災小委員会	主 査 名：室崎益輝 就任年月：2005 年 4 月
<b>所属本委員会 (所属運営委員会)</b>	防火委員会	委員長名：室崎益輝 主 査 名：
<b>設 置 期 間</b>	2005 年 4 月 ～ 2007 年 3 月	
<b>設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2005 年 過去の地震火災の性状や特性の考察</li> <li>・ 2006 年 首都直下など次の地震火災の性状予測</li> <li>・ 2007 年 地震火災対策の検討</li> </ul>	
<b>委員構成 (委員名 (所属))</b>	委員公募の有無：有り	
<b>設置 WG (WG 名：目的)</b>		
<b>2005 年度予算</b>	143,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
<b>委員会開催数</b>	0 回 (ただし、準備打ち合わせ 1 回)
<b>刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)</b>	なし
<b>講習会</b>	なし
<b>催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)</b>	なし
<b>大会研究集会</b>	なし
<b>対外的意見表明・パ ブリックコメント等</b>	なし
<b>目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)</b>	1. 小委員会の体制や活動内容について、メール等の打ち合わせを行ったが、小委員会の責任者等が決まらず、実質的に休業状態になっている。そのため、当初の活動計画が殆ど達成できていない。
<b>委員会活動の問題点 ・課題</b>	1. 早急に小委員会を開催して、小委員会の若返りを図って、活動を軌道に載せる必要がある。 2. 首都直下地震の火災被害の検討会を 2006 年度の早期に開催する。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。